

第65回全国保育問題研究集会 in 福岡



かたうんね

実行委員会ニュース No.2

2025. 11. 20

歌で会場をひとつに

閉会集会で“どろだんご合唱団”と現地の実行委員で歌をうたいます。

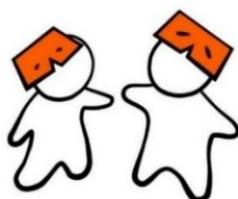
どろだんご合唱団とは、2014年に福岡で開催された全国保育団体合同研究集会で結成された団体です。それから11年。現在も歌で繋がった絆を大切に子ども、保護者、保育士、OG、OBで積極的に活動を続けています。保育や子育てのエピソードを歌詞の中に取り入れたり、保育9条の理念のもと平和の大切さを歌で届けたりと、曲の幅は多岐にわたります。

そんなどろだんご合唱団と共に福岡集会で歌をうたうべく、10/13(祝)と11/9(日)に合唱団と事務局のメンバーで練習を行いました。どろだんご合唱団の代表曲の一つ「ぴかぴかのどろだんご」を含む曲のラインナップ！！きっとみなさんにも楽しんでもらえると思います♪



博多にわか

タイトル横のオレンジの太眉。これ実はお面なんです！！“にわか面”と呼ばれ、博多弁で会話し、会話の最後にオチをつけるという言葉あそびの郷土芸能



“博多にわか”で用いられます。ユニークな表情をしていますね。集会では“博多にわか”的特別講座も計画中です。にわか面を付けてのワークなんて福岡でしかできません。貴重な体験になること間違いありませんよ！！

記念講演：奥田知志氏(NPO法人「抱樸」理事長)

「ひとりにしない」という支援を続けている

NPO法人「抱樸(ほうぼく)」。その理事長が奥田知志氏です。

「ひとりの路上死も出さない」

「ホームレスを生まない社会を創造する」

「ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を」

の3つを目標に「一日も早い解散」を宣言し支援を続けられています。



これまでに3700人以上のホームレスの人々の自立を支援。“ホームレス”とは家族がない人のことをさし、家がない“ハウスレス”とは分けて考えられています。その支援の方法は“つながり”。独りで生きざるを得ないことになってしまった方々との対話を大切にし、次のステップに進めるために奔走されています。1988年から始まった活動は、今では子ども・家族支援、就労支援、障害福祉、高齢福祉など様々な方面へと拡がっています。まさに福岡が大切にしている“人とのつながり”を体現されている方です。

奥田氏は共生地域創造財団代表理事、全国居住支援法人協議会共同代表、国審議会等の役職も歴任。第19回糸賀一雄記念賞受賞など多数の表彰を受けています。NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」にも2度取り上げられ、著作も多数と広範囲に活動をされています。

来年度の福岡集会は直接話を聞ける貴重な機会です。記念講演へのご参加をお待ちしています！！